

顔認証の概要とその問題点・課題

↳ 顔認証は監視カメラで録った画像から、人を自動的に識別するためのコンピューターのアプリケーションである。

特長

- ①非接触で認証可能
- ②なりすましが困難、高いセキュリティ
- ③利用者の心理的負担の低さ

活用例

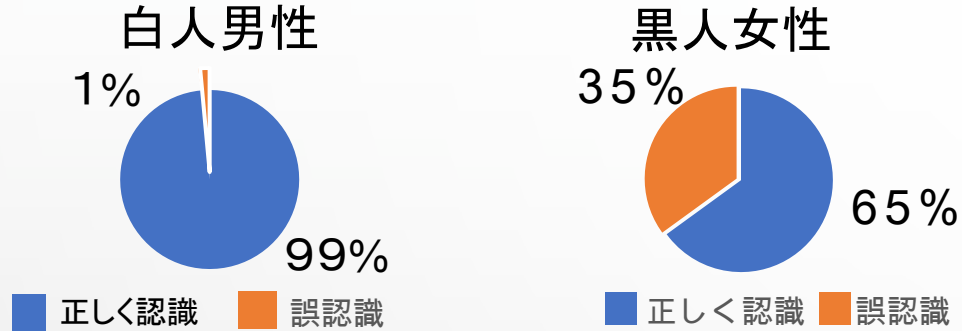
- ①AppleのFaceID
- ②犯罪捜査
- ③ライブチケットの転売防止
- ④タバコの自動販売機

などなどなど

顔認証は現在も発展を続け、盛んに活用されており大きな可能性はあるが、同時にたくさんの問題点、課題がある。

顔認証の問題点

① 顔認証は、白人男性よりも黒人や女性が認識しづらいという問題点



実際、グラフのように人種によって誤認識の確率が大きく異なっている。原因は顔認証システムの開発にあたって白人男性の画像がよく使われていること。現に存在している差別を助長しかねない。

② プライバシーの侵害という問題点

SNSで本名、出身校、誕生日や顔写真などを公開しているため、もし監視カメラで捉えて画像とSNS上のが結びついてしまえば個人の行動パターンなどがわかってしまう。これが犯罪に利用されてしまう場合ももちろんある。

顔認証の今後の課題

- ・活用範囲が広がっているにもかかわらず法整備がきちんとは進められていない。個人情報を保全するための法整備が必要になる。
- ・開発にあたって偏ったサンプルを使うのではなく広い範囲でサンプルを採用するルールの制定が必要になる。

参考文献:

<https://japan.cnet.com/article/35134952/>

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12266-71>